

令和5年度 学校経営

白井市立白井第二小学校

1 学校経営方針

- 小規模校のよさを生かした特色ある教育活動を展開し、一人一人の児童の自己肯定感を高め、やさしさと笑顔あふれる学校をめざす。～二小だからできること～

2 学校教育目標

未来に夢をもち、たくましく生きる児童の育成 【チャレンジ】

3 具体的目標

(1) めざす児童像

- 進んでまなぶ子〈考えを伝えようとして伝える〉
- *自分の考えをもち、伝えようとして伝えられる子
 - *課題をもち、自ら家庭学習に取り組む子
 - *自ら本に手を伸ばす子
- 思いやりのあるやさしい子〈温かい心〉
- *相手の気持ちを考えて行動できる子
 - *心のこもった挨拶ができる子
 - *思いやりのある言葉づかいができる子
- たくましい子〈元気いっぱい〉
- *健康に関心をもち、体力の増進に努める子
 - *あきらめずに最後まで努力する子
 - *自分の安全を自分で守ることのできる子

(2) めざす学校像

- 子どもたち一人一人が輝く学校
- *生徒指導の機能を生かし（自己存在感、自己決定の場、共感的人間関係）、子どもたちの笑顔が輝く、元気な学校
- 安全で楽しく生活できる学校
- *子どもと教師が互いに信頼し合い、いつも清潔な環境を保ち、安心して生活できる学校
- 地域に愛される学校
- *地域の人とともに子どもを育てる学校

(3) めざす教師像

- 自ら研修に励み、指導力の向上に努める教師
- 子どもや保護者、地域の人に信頼される教師
- 教育への情熱と使命感にあふれる教師

4 経営の重点

(1) 【確かな学力】を育む教育活動の推進 ～進んでまなぶ子～

① 学ぶ意欲の向上 (内発的動機付け)

- ・ 「考えを伝えようとして伝える」を合言葉に、内発的動機付けに基づいた授業実践
- ・ 振り返りを有効に活用し、次の課題に生かす。
- ・ 学習習慣・学習規律の確立を図る。特に聞く姿勢を大切にする。
- ・ 生徒指導の機能を生かした学び合う授業の推進
(自己存在感、自己決定の場、共感的人間関係)
- ・ 児童が「主体的・対話的で深い学び」ができる授業改善
(「分からない」「教えて」が言える環境づくり)
- ・ 月例テストの実施による漢字・計算等の習得(自ら学びに向かう意欲喚起)
- ・ ユニバーサルデザインを生かした授業展開、学習環境の工夫
(視覚化・焦点化・共有化・スモールステップ化・身体表現化)
- ・ 低学年のサポートタイム(木曜6校時)

② ICTを活用した教育活動の充実

- ・ ねらいを明確にし、ねらいに沿ったICT機器の活用
- ・ 情報モラル教育の実施
- ・ 欠席児童への学習の保障
- ・ 使用ソフトの充実

③ 体験活動・交流活動の充実による、思考力・判断力・表現力の育成

- ・ 総合的な学習の時間や生活科で、福祉教育、環境教育、国際理解教育、地域理解教育、キャリア教育等の領域をとりあげ、地域の教育資源(素材や人材)を活用した体験学習を推進する。
- ・ 社会福祉協議会、白井環境塾、白井工業団地等、地域との連携
- ・ 学年園、畑を有効活用した体験活動の充実
- ・ 教育活動に必要な人的・物的資源等の確保と活用
- ・ 教科横断的な視点で編成した、社会に開かれた教育課程の推進
- ・ PDCAを取り入れた評価改善を行う。

④ 読書指導・図書館教育の充実

- ・ 朝読書、読み聞かせ、e-libraryの活用による読書習慣の醸成
- ・ 読書と関連させた国語授業への読書活動推進補助教員の参画
- ・ ブックトーク、読書感想画等、多彩な読書活動の推進

- ・おはなしのたまてばこ、市図書館との連携
- ・「家読」の奨励（低学年では親子読書の推進）

⑤自ら学ぶ姿勢を育てる、家庭学習の奨励

- ・学年や習熟度に応じた家庭学習課題の設定
- ・自らの課題を理解し苦手なことをできるようにしたいと考える、学びに向かう力の育成（できない問題の練習、授業での次時の課題提示）
- ・家庭との連携
- ・音読練習の充実
- ・どの学年でも、発達段階に応じた自学の奨励

⑥研修の充実による、教職員の資質の向上

- ・全教職員共通理解の下、めあてを明確にした研修の充実
- ・若年層教員の授業研修や相互授業参観の推進とミドルリーダーの育成
- ・放課後等を活用した、気軽な情報交換
- ・市夏季研修や他校の公開研究会等への積極的な参加
- ・校長、教頭による授業観察と助言

⑦外国語（高学年）・外国語活動（低中学年）の実施

- ・ALTと連携した外国語・外国語活動の授業の充実
- ・自らの思いを表現する時間の確保
- ・総合的な学習の時間や他の教科と関連づけた国際教育の推進

（２）【豊かな心】と【健やかな体】を育む教育活動の推進

～思いやりのあるやさしい子・たくましい子～

①縦割り活動、地域との交流活動の充実

- ・学年を超えた交流（全校徒歩遠足、縦割り活動、行事を通じた活動等）
- ・全校児童が参加する温かな入学式、卒業式
- ・地区社会福祉協議会と連携した、伝承遊び、グラウンドゴルフの実施
- ・白井環境塾、白井工業団地等と連携した体験学習やキャリア教育

②道徳教育の充実

- ・教育活動全体を通じての道徳教育の充実
- ・「考え、議論する道徳」の授業を通し、道徳的価値を多面的、多角的に考えられる児童の育成
- ・全学級、授業参観で道徳授業を公開
- ・道徳授業での映像資料の活用、体験活動との連動等、多様な指導法の確立

- ・「気づき、考え、実行する」ことができる児童の育成

③和太鼓・合唱等の指導による心・技・体の調和（総合的な学習の時間、音楽等）

- ・白井市音楽発表会、校内での音楽集会での和太鼓演奏
- ・美しい歌声が響き、全校で音楽を楽しむ音楽集会の充実
- ・日本の伝統文化に触れる箏の体験学習

④体育と日常的な体力づくりの充実

- ・体育指導の充実（体育講習会・研修会の職員への伝達講習の実施）
- ・市民プールでの水泳学習、インストラクターによる指導
（担任は補助・支援及び評価）
- ・発達段階に応じた系統的な基礎基本運動
- ・陸上競技の朝練習を通じた体力向上
- ・外遊びの奨励と校庭の環境整備

⑤健康教育、保健指導・食に関する指導の充実

- ・保健だよりを活用した学級活動の充実
- ・養護教諭による一人一人に寄り添った保健指導
- ・生活習慣の指導充実とむし歯治療率のさらなる向上
- ・栄養教諭と連携した給食・家庭科・学級活動等における食育指導
- ・肥満防止に向けた食育指導と家庭への啓発
- ・自分の健康を考えた ICT 機器の使い方指導

（3）児童一人一人を大切に作る学級・学校づくり ～一人一人が輝く学校～

①全児童を全職員で育てる温かな学校づくりの推進

- ・縦割り班活動や、交換授業などでの児童理解の推進
- ・職員打合せにおける生徒指導上の情報交換の実施
- ・休み時間の活用

②インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進

- ・児童の様子（必要性）に応じた合理的な配慮の提供（障害者差別解消法）
- ・特別な教育的支援を要する児童の実態の共通理解と組織的、計画的な指導
- ・通常の学級において困り感がある児童への支援

③特別支援教育に関する教員の専門性の向上

- ・特別支援教育に関する実践的な職員研修の実施

- ・個別支援学級と通常学級の交流の推進
- ・校内特別支援教育委員会の定期的な開催
- ・指導主事、巡回指導員、関係機関等との連携
- ・ユニバーサルデザインの視点（視覚化、焦点化、共有化、スモールステップ化、身体表現化）の効果的な活用

④豊かな人間関係づくりの推進

- ・ピアサポートの活用
- ・Y-Pアセスメントを生かした学級づくり
- ・人権週間行事の充実
「友だちのいいところさがし」・人権集会「誓いの言葉」を学年ごとに発表する。
- ・いじめの早期発見と適切な対応及び相談窓口の周知
- ・年2回（6月・12月）の教育相談の実施や相談箱の活用

（4）地域から信頼される安全・安心な学校づくり

～安全で楽しく生活できる学校・地域に愛される学校～

①避難訓練・防災訓練の計画的な実施

- ・地震と火災想定での避難訓練、3分間訓練の実施
- ・消防署と連携した避難訓練の実施（煙体験、消火器体験等）
- ・あんしん教室（1年・3年）、不審者対応訓練の実施
- ・防災計画、緊急時対応マニュアルの見直し

②交通安全指導の充実

- ・長期休業空けの交通安全街頭指導、スクールバスの乗り方指導の実施
- ・交通安全教室（歩行、自転車）の実施と、継続的な交通安全指導
- ・登下校時見守りボランティアとの連携

③不祥事防止のための取り組みの充実

- ・ボトムアップ型のモラルアップ委員会・研修の推進
- ・職員への新聞・雑誌等の情報提供（教育関係記事のコピー配付）
- ・会議や校務の効率化のための工夫と、「ノー残業デー」の奨励
- ・職員の働き方を改革するための取り組み（昨年度との在校時間の比較）
教育課程（行事等）の見直し・改善

④学校評価を生かした学校運営の改善

- ・学校評価から明らかになった学習指導、生徒指導、安全等の課題への対応

- ・主な学校行事や授業参観での保護者からの意見・感想の収集（批評箋等）
- ・学校評議員会議（年3回）での意見聴取を生かした改善

⑤地域・保護者への情報発信

- ・メール配信による情報伝達
- ・学年だより、保健だより等の発行とホームページ掲載
- ・ホームページの学校ニュースの更新
- ・みどりの里づくり協議会会報誌「カワセミ」の活用

⑥家庭・地域との連携

- ・地域（みどりの里づくり協議会等）・保護者との連携
- ・日頃から「開かれた学校」を意識した、保護者との連携・協力